



仙台塩釜港復興だより 第8号 — 港湾は人の心も結んでいます —

中国／韓国定期航路が増便！ほぼ震災前の水準まで回復！！



●STAR CLIPPER 荷役の様子

『高砂ふ頭復旧の歩み』

- ・平成23年6月
高砂1号ふ頭供用開始
- ・平成23年9月
ガントリークレーン2号機稼働
- ・平成23年12月
ガントリークレーン1号機稼働
- ・平成24年1月
高砂2号ふ頭330mのうち270m供用開始
ガントリークレーン4号機稼働
- ・平成24年4月
ガントリークレーン3号機稼働
これによりすべてのガントリークレーンが稼働

昨年9月の中国／韓国航路再開に続き、今年5月17日中国／韓国と仙台港を結ぶ国際定期コンテナ航路が増便され、震災前と同じ週2便体制となりました。

今回入港した南星海運(株)のSATR CLIPPERは高砂1号ふ頭に着岸し、コンテナ12個を陸揚げ、タイヤやバルブ等をのせたコンテナ119個を積み込みました。

震災以降、内航フィーダー航路は昨年7月までに全て再開し、9月に中国／韓国航路、今年1月に北米／西岸航路、3月に韓国航路が再開し、外貿コンテナ航路は現在4航路・週4便運航しており、ほぼ震災前の水準まで回復しています。仙台港を利用する荷主や関係企業の物流コストの削減、国際競争力の強化が期待されます。

復興願い 塩竈みなと祭開催



日本三大船祭の一つとされる塩竈みなと祭が7月16日に行われました。昨年は震災で港や船が被災したため、規模を縮小して行われたが、今年は例年通りの規模で実施されました。

祭りでは、地元の志波彦神社と鹽竈神社の神輿を載せた2隻の御座船「鳳凰丸」と「龍王丸」が約100隻のお供船と共に、七ヶ浜沖や松島海岸、浦戸諸島などを巡回し、海上安全や大漁を願いました。

塩竈みなと祭は1948年戦後復興を目的に始まり、今年で65回目の開催となります。

●神輿を載せる御座船「鳳凰丸」と多くの見物客

塩釜港区の工事が進んでいます！

東日本大震災により当事務所管内では238件（うち塩釜港区154件）の施設が被災し、昨年度中に国の災害復旧事業を申請し無事採択されました。

塩釜港区では現在、貞山ふ頭2号岸壁及び貞山取付護岸、東宮浜物揚場で災害復旧工事に着手しています。

その内、貞山取付護岸では鋼管矢板の打設工事を施工中です。

その他の施設においても順次復旧工事に着手していきますのでご協力お願いします。



●貞山取付護岸工事の様子

ケーソン据付が完了しました。

国土交通省で施工しているC防波堤災害復旧工事において、7月8日に震災により転倒していたケーソンの据付作業が完了しました。

既設のケーソンは再利用不可能であったため撤去・取り壊しを行い、塩釜港区でフローティングドックにより新しいケーソンを製作し、今回据付したものです。



●ケーソン据付の様子

仙台・塩釜港区の一斉清掃を今年度再開しました!



●仙台港区の参加者の皆様



●塩釜港区の清掃風景

震災の影響により、昨年度実施できなかった清掃奉仕活動が仙台港区は7月20日の夢メッセリニューアルオープンに合わせ18日に、塩釜港区は7月16日の塩竈みなと祭の再開に合わせ12日に実施されました。

塩釜港区では、あいにくの雨のなか27団体(105名)と多くみなさまにご参加いただき、各ふ頭周辺の清掃を行っていただき、仙台港区では、晴天のなか74団体(369名)のみなさまに港湾道路の清掃を行っていただきました。

なお、来年度も実施予定となっておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

自衛隊イージス艦寄港!

7月21日～22日の二日間、仙台港の中野埠頭において「自衛艦 in 仙台港」が開催されました。イージス装置一式を搭載した護衛艦「きりしま」、護衛艦「さざなみ」の2隻が仙台港に寄港し、体験航海や一般展示などを行いました。自衛隊は東日本大震災直後の仙台塩釜港の復興にも大いに活躍しました。



●寄港した護衛艦「きりしま」

夢メッセで自動車フェスタ開催

夢メッセみやぎは東日本大震災で甚大な被害を受け、再開に向け復旧工事を行っていましたが今般、復旧工事が完了し再開事業第1弾として「とうほく自動車フェスタ」が7月20日～29日の日程で開催されています。

「車の進化がわかる、未来がみえる」をテーマに自動車の過去と未来を、多角的な視点で紹介しています。

夢メッセみやぎが再開したことにより、仙台港地区の本格的な復興さらには今後の発展の大きな弾みになることが期待されます。



●自動車フェスタ開催中

七郷小学校の3年生が仙台港の見学に来ました。

七郷小学校3年生180名が総合学習の一環として、仙台港について学習しました。

まず、6月26日に事務所職員が七郷小学校にお邪魔し、港の震災による影響と復旧について、前半は震災当時や現在の写真を交えて紹介し、港のイメージを持ってもらいました。後半は港の役割について、入港する船や港にある荷役機械、コンテナの種類等を紹介しました。また、教室にコンテナの原寸スケールの線を引き、みんなにその中に入ってもらうことで、コンテナの大きさを体感してもらいました。

6月28日には、フェリーターミナルと高砂コンテナターミナルをそれぞれ見学しました。出前授業で学習した船や荷役機械、コンテナが実際に動いている様子にとっても感動していました。フェリー入港の様子や、コンテナの運搬・積み込みなど、普段は見ることのできない様子を、興奮しながら見学してくれました。また、津波が襲来したときの水位を示した看板を紹介した際には、その高さにとっても驚いていました。見学時間は1時間半程度と短い時間でしたが、色々なことを質問してくれ、熱心にメモをとりながら説明を聞いてくれました。

後日、七郷小学校の子どもたちからお礼のお手紙をいただきました。みんなそれぞれに一生懸命に書いてくれていて、職員一同とても感動しました。たくさんの笑顔(^o^)たくさんの元気(^^)をいただきました。七郷小学校のみなさん、ありがとうございました。



●いただいたお礼の手紙



●仙台塩釜港に到着 (フェリーターミナル前)



●高砂コンテナターミナル見学 (高砂コンテナターミナル管理棟屋上)

編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 編集委員

〒983-0001

仙台市宮城野区港三丁目1-3 アクセル5階

TEL:022-254-3132

FAX:022-254-3136

E-mail: sdsgkowns@pref.miyagi.jp